

NEWS

ニュースフラッシュ

FLASH



富山ではなぜ昆布の消費が多いのか



食文化の多様性に見る昆布がもたらす地域の矜持

町主催の『第6回特別展「日高の昆布」関連講演会』が博物館で開かれ、1月24日に「富山ではなぜ昆布の消費が多いのか」と題して齋藤貴之さん（北海道武蔵女子短期大学准教授）が、1月31日に「食文化の多様性に見る昆布がもたらす地域の矜持」と題して遊佐順和さん（札幌国際大学短期大学教授）が講演を行いました。

講演会にはそれぞれ約20人が参加し、真剣な表情で地域資源である身近なコンブについての理解を深めました。

参加者は「内容が奥深くとも勉強になりました」と話しました。

第6回特別展「日高の昆布」

関連講演会開催

教育委員会主催の『文化講座 押し花アート』が1月30日に総合市民センターで開かれ、初心者から愛好者までの8人が参加しました。

参加者は、講師（河合暁子さん）の作品を見本にしなが、専用のピンセットを使い、産のデルフィニウムやバ



文化講座 押し花アート開催



町と日高信用金庫（大沼孝司理事長）による『包括連携に関する協定書締結式』が1月27日に静内庁舎で行われ、地域経済の活性化や子育て支援など、幅広い分野で連携、協力する『まちづくりに関する包括連携協定』を締結しました。

また、町と日高信用金庫静内支店（渡辺亮支店長）並びに三石支店（山村浩樹支店長）は、各支店が通常業務において訪問先で異変などを発見した際に町へ連絡するなど、高齢者等弱者の孤立死を防止する『地域見守り活動に関する協定』を締結しました。

日高信用金庫と

包括連携協定などを締結

紺綬褒章



(株) 出口組 = 静内本町

昨年5月に新型コロナウイルス感染症対策支え合い基金として町に1,000万円を寄付した(株)出口組（出口直冲代表取締役）が公益のために多額の私財を寄付した功績で紺綬褒章を受章し、2月8日に大野町長から伝達しました。

出口社長は「大変光栄です。今後もなお一層ご協力させていただきます」と話しました。

大野町長は「基金を基に3つの事業を立ち上げることができました。本当にありがとうございます」と感謝を述べました。

善行表彰



田湯グループ = 静内末広町

町は、12月21日に公共の介護施設・病院への感染症対策用備品（検温器・空気清浄機など）購入資金として500万円を寄付された田湯グループ（田湯勝義代表）に2月15日善行表彰を贈りました。

田湯代表は「少しでも町のためと思い寄付をしました。町民の皆さんが安心して暮らせるように使っていただきたい」と話しました。

大野町長は「本当にありがとうございます。医療現場の基盤をしっかり作っていきます」と感謝を述べました。

北海道社会貢献賞 (自治功労者)



築紫文一さん(75) = 三石稲見

築紫文一さんが北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞し、2月8日に大野町長から表彰状を伝達しました。

築紫さんは、平成11年から平成30年までの19年の長きにわたり、町議会議員として、卓越した識見と豊富な経験をもって地方自治の発展に寄与され、この間、文教厚生常任委員会副委員長や企業会計決算審査特別委員会委員長などの要職を歴任されました。

築紫さんは「周りの皆さんの協力のおかげです。今後も地域のために役に立ちたいです」と話しました。

白寿祝



藤平ヨシエさん(99)

藤平ヨシエさんが2月3日に白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で、町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

藤平さんは石狩市当別町で生まれ、昭和22年の結婚をきっかけに旧静内町に引っ越し、夫婦二人三脚で牧場を営んできました。

施設では、テレビを見たり、職員との会話を楽しんでいます。

家族の方は「去年は体調を崩すことがあり心配でしたが、皆さんにお世話になりながら元気でいてくれて感謝しています」と話しました。